

学校だより平成30年10月号



# 文蔵小通信

さいたま市立文蔵小学校

〒336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29

TEL 863-0721 FAX 836-1583

## 学問のすゝめ

校長 西畑 孔夫

すっかり気候も落ち着き、今まさに秋たけなわです。

「秋」といえば「食欲の秋」「学問の秋」「スポーツの秋」「旅行の秋」「恋の秋」など様々ですが、今回は学問にかかわるお話をしたいと思います。

江戸時代末期から明治にかけて活躍した福澤諭吉という人がいました。慶應義塾大学の創設者であり、北里大学、一橋大学、早稲田大学、専修大学の創立にも関わりました。また、「自由」「社会」「西洋」「会社」「権利」「討論」「演説」「迷惑」など数多くの言葉を作ったことでも知られています。最高額紙幣である一万円札に肖像が描かれており、世界でもっとも有名な日本人の一人でもあります。

さて、福澤の有名な著書に『学問のすゝめ』があります。日本史でおなじみの方も多と思います。巻頭の一文「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」から、人は生まれながらに平等であり、学問に精進し身を立てていくべきだという内容の書物であると紹介されることが多いようです。明治になり四民平等が謳(うた)われた時代でもあるので、そうか福澤は人々の平等を説いたのかと思われがちですが、実はちょっと意味合いが異なるようです。読み進めていくと「賢人と愚人との別は学ぶと学ばざるによりてできるものなり」「人は生まれながらに貴賤貧富の別なし。ただ学問を勤めて物事をよく知る者は貴人となり富人となり、無学なる者は貧人となり下人となるなり」とあります。社会情勢も異なり、国際化、多様化の現代では、学問だけが幸せの基準ではありませんが、人生は努力次第で大きく変わるのだということは、今日でも十分に通じることです。



これからも子どもたちによくわかる楽しい授業を提供するよう、職員一同、意を尽くしてまいります。ご家庭でもぜひ後押しをお願いします。親からのちょっとした一言が大きな励みになり、明日への意欲となります。どうぞよろしく願いいたします。

しゅうかくの秋です

